

「ダメ、ゼッタイ!!」(薬物乱用防止教室)

青少年健全育成委員会
委員長 L 皆川光司



最近、毎日のようにテレビ・新聞等で、薬物、覚醒剤の言葉を聞くようになって来た世の中。
この薬物乱用を促進しているのが、ごく一部の大人社会、薬物乱用防止の活動をするのも大人社会。微力ではありますが、浦安ライオンズクラブも薬物乱用防止の活動を活発に行っております。

数年前の金子康行氏が会長の時に始めた教室だと思いますが、浦安市内の子供達に薬物の恐さを教え、大人になっても絶対に使わないようにと思う気持ちで我々は薬物乱用防止教室を開催しています。

7月8日に今期1回目の薬物乱用防止教室を明海小学校6年生を対象に開催致しました。DVD上映、教頭先生、教職員、婦警さんにも出演して頂いた寸劇。浦安警察の婦警さんの実体験を取り入れての講演も有り、とても充実した教室でした。

校長先生の最後のお話の中で、寸劇の間に入れた《ダメ！ゼッタイ！》の皆で出した掛け声が、非常に子供達の心の中に残りますよと言う好評を頂きました。

前期から今回で3回目の寸劇ではありますが、キャストのメンバーの中には自宅で家族相手に練習していると言う話も聞いております。回を重ねる度にパワーアップしている感じです。寸劇はとても評判が良くこれからも取り入れて行く予定です。

明海小学校、校長先生を始めとする教頭先生、先生方、婦警さん、Lメンバー、本当にご協力有難うございました。

※次回以降の予定

高洲北小 2009年10月13日

北部小 2010年2月15日



薬物乱用防止教室での寸劇





浦安市立 明海小学校の生徒さんから感想文が届いておりますので一部紹介いたします。

- ◆ (感じたこと、考えたこと) DVDや寸劇でとてもわかりやすく教えてくれた。薬物は脳を破壊するほど危険だと知らなかったので勉強になった。
(ぼくのわたしの強い決心) 絶対薬物に手を出さない！
- ◆ (感じたこと、考えたこと) 家に薬物をやってしまった女の子のマンガがあって、そのマンガを読んだ後、私はとても怖くなりました。なのでこの教室をやって改めて薬物の怖さ・危険性・恐ろしさがわかりました。
(ぼくのわたしの強い決心) 誘われても絶対やらない！
- ◆ (感じたこと、考えたこと) ライオンズクラブが来て、薬物の恐ろしさを教えてくれた。DVDや寸劇によって私は薬物が怖いということを改めて実感した。私は絶対に薬物に触れず使わない。どんな人に誘われてもきっぱりと断る。そう考えた。
(ぼくのわたしの強い決心) 薬物乱用は、ダメ！ ゼツタイ！ を守る。
- ◆ (感じたこと、考えたこと) 薬物は一度使っただけでもダメ！ということが伝わった。薬物以外にもタバコもダメということもわかった。薬物は友達とかに誘われてもダメ！ゼツタイ！を思い出して絶対にやらないようにする。
(ぼくのわたしの強い決心) 薬物はダメ、ゼツタイ！
- ◆ (感じたこと、考えたこと) 薬物の危険なことはわかってはいたけど、吸ったり・飲んだりしたら麻ひするのははじめて知ったので知れてよかった。絶対薬物は持たないしもらわないと思いました。
(ぼくのわたしの強い決心) 薬物を吸ったり、飲んだりはしない！
- ◆ (感じたこと、考えたこと) 薬物はこわい物とわかってはいたけど、あらためてこわいと思いました。本当にあった話を聞いて「気をつけなきゃ」と「だまされないようにしよう」と思いました。薬物はゼツタイ使用しないと思いました。
(ぼくのわたしの強い決心) 薬物はゼツタイ使用しない！